

観光振興へタッグ

日本航空（JAL）と連携協定を締結しました

3月24日、仙北市と日本航空（JAL）は、訪日外国人旅行者（インバウンド）の誘客や、仙北市の特産物の販路拡大、両者が力を入れている関係人口の拡大などを目的とした連携協定を締結しました。今後はさらなる相互協力をしながら、持続可能な観光まちづくりを進め、観光地としての活性化に取り組んでいきます。連携事項は次のとおりです。

- ▶観光まちづくりに向けた関係人口の創出・拡大に関する事
- ▶仙北市の認知度向上に向けた取り組み推進に関する事
- ▶仙北市へのインバウンド誘客に関する事
- ▶仙北市産品のPRと商物流の販路拡大に向けた取り組みに関する事
- ▶持続可能な観光まちづくりおよび地域全体の価値向上に関する事
- ▶そのほか、仙北市とJAL双方の活性化に資する取り組みに関する事



仙北市、JR 東日本秋田支社、田沢湖・角館観光協会の三者連携による和の角館 リニューアルオープン

JR 東日本秋田支社が改装を進めていた仙北市角館町田の宿泊施設「和の角館」が、3月30日にリニューアルオープンしました。

市所有の観光施設「西宮家」を活用し、主屋や蔵を改装した客室やレストラン、ロビーなどを整備し、客室は3室を新設して全6室となりました。歴史的建造物の趣を生かし、空間や時間の奥行きを五感で感じられ、滞在を楽しむことができます。

米蔵を活用したレストランでは、県産食材を使ったコース料理を提供し、宿泊者以外も利用可能で、さらに、みそやしょうゆの仕込み見学や武家屋敷の特別見学など、地域の魅力を体験できる取り組みも予定されています。

西宮家の価値を生かした施設として、観光客の滞在満足度向上と市内周遊の促進につながる拠点になることが期待されます。



「チームスマイル」仙北市チームオレンジ第1号登録！

3月23日、仙北市で第1号となるチームオレンジの登録証の交付式を行いました。チームオレンジとは、認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した認知症サポーターなどがチームを作り、認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう活動を行う団体のことです。

「チームスマイル」は、下延地域で認知症カフェにみんなが集まって、認知症の予防、健康寿命の延伸、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりする活動を5年以上前から続けています。代表の藤原さんは「これからもみんな健康に過ごせるようにがんばりたい」と話されています。



第36回田沢湖オープンソフトテニスインドア大会

3月22日（日）、仙北市生保内市民体育館において「第36回田沢湖オープンソフトテニスインドア大会」が開催されました。田沢湖テニスクラブの主催により行われた本大会には、多くの選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。種目はソフトテニス ダブルスで実施され、一般の部では息の合ったプレーや粘り強いラリーが随所に見られ、会場は大いに盛り上がりました。

- ▶優勝 武藏勇亨・高橋司ペア
- ▶準優勝 田口涼太・鬼川亮ペア
- ▶同率3位 菅萌美・武藤小太郎ペア 武藤晋・武藤愛美ペア

善意ありがとうございます

一般社団法人秋田県仙北建設業協会建友会 ホワイトボード付きパーティション1枚寄贈いただきました

3月26日、一般社団法人秋田県仙北建設業協会と同協会建友会より市内の子どもたちの教育に役立ててほしいと、特別支援学級の子どもたちにホワイトボード付きパーティション1枚を寄贈いただきました。

角館上野庁舎に訪れた建友会の高橋会長は、少子化が進むなか、子どもたちの将来のために役立ててほしいと話しました。



左から畠山副会長、須田教育長、高橋会長、西宮事務局長

角館ライオンズクラブへの中古メガネの寄付ありがとうございました

角館庁舎に設置した中古メガネ回収ボックスに101個のメガネのご寄付をいただきました。ご厚意は、ライオンズクラブ国際協会を通じて、世界中のメガネを必要とする方々にお届けします。

仙北水力発電株式会社さまから地域振興基金として寄付をいただきました

地域の振興・活性化に資する活動に使用することを目的とした地域振興基金として、50万円のご寄付を頂戴しました。

寄付金額は、令和5年3月から締結している協定に基づき、毎年の売電収益の状況により決定され、令和23年度まで、毎年度ご寄付いただく予定になっています。

地域おこし協力隊退任～溝口真矢さんに感謝状～

令和5年4月から仙北市地域おこし協力隊として活動してきた溝口真矢さんが、3月31日に任期を終え、田口市長より感謝状が贈呈されました。

任期中は、仙北市の景観価値を活かした「リトリート」の推進と関係人口の創出を通じた市の魅力発信に取り組むとともに、たざわ湖・龍神まつりをはじめとした地域行事への積極参加や運営支援、秋田内陸線を活用した音楽イベントを開催するなど、地域内外の人々をつなぐ架け橋となり、地域活性化に大きく貢献されました。

溝口さんは、「任期の序盤は知り合いがほとんどいない中で始まったが、市役所や地域の方々から力強く支えてくれた。」と感慨深く振り返り、「この先も仙北市に残って、自分にできることを市のためにやっていきたい。こういう場所を見つけたのは自分の人生で大きいこと」と感謝と抱負を語りました。



訓練を披露する警察犬「アニ」と指導手の吉田さん。



街頭で交通安全を呼びかけるだしの園の園児たち。



だしのこ園 交通安全教室 警察犬「アニ」1日警察署長

4月10日、はなさき仙北だしのこ園で交通安全教室が行われ、園児たちが楽しみながら交通ルールを学びました。

この日は、警察官による指導のもと、ホールに設けられた横断歩道を使い、道路の渡り方を実技を交えて確認。「右見て、左見て」と声に出しながら安全確認を行い、実際に体験する園児の姿も見られました。

続いて行われたのは、1日警察署長に任命された警察犬「アニ」による訓練の披露。リードを外された状態でも「待て」の指示をしっかり守る姿に、子どもたちは驚きの声を上げながら、興味深く見入っていました。

教室終了後には、警察官のミニ制服に着替えた年長児18人がビブレ田沢湖店へ移動し、交通安全街頭キャンペーンに参加しました。来店者にチラシなどを手渡ししながら、交通安全を呼びかけました。

なお、この日の教室には園児75人が参加しました。地域全体で交通安全への意識を高める機会となりました。

アニは、仙北市田沢湖生保内在住の嘱託警察犬指導手の吉田さんが育てる警察犬で、各種大会で優秀な成績を収めている実力犬です。日頃の訓練の成果を発揮し、子どもたちに交通安全の大切さを伝える1日警察署長として活躍しました。

(百寿) おめでとうございます

次の方々が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが送られました。



佐藤正さん
(角館町広久内)
2月18日生まれ



千代愛子さん
(角館町川原)
3月1日生まれ



草薨豊さん
(田沢湖卒田)
3月3日生まれ



田代マサさん
(田沢湖生保内)
3月12日生まれ



橋本耕成さん
(西木町上荒井)
4月2日生まれ

桜まつり開催 オープニングセレモニーを行いました

4月15日、角館の桜まつりが開幕しました。オープニングセレモニー当日は晴天に恵まれ、みちのく三大桜名所の1つである北上市から八重樫浩文市長、また弘前市から市長代理として白戸麻紀子観光部長が参列するなど、華やかな幕開けとなりました。セレモニーでは鏡開きが行われ、日本酒が観光に訪れた方々に振る舞われ、国内外からの来場者でにぎわいを見せました。会場では、演歌歌手で観光大使の小桜舞子さんによるステージも披露され、まつりに彩りを添えました。

会場周辺には多くの出店が立ち並び、訪れた人々は飲食も楽しみながら春のひとときを満喫していました。また、4

月の土・日曜日、祝日には、特設ステージにおいて飾山囃子の披露が行われ、伝統の音色が会場に響き渡るなど、一層のにぎわいの中で桜は見頃を迎えていました。武家屋敷通りのシダレザクラは4月15日に満開、檜木内川堤のソメイヨシノは4月16日に満開となりました。



たくさんの桜が彩る角館の町。



オープニングセレモニーで歌唱している小桜舞子さん。